

Handsome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長：中本高夫 編集責任者：南 順三 印刷所：東京印刷株式会社



表紙写真テーマ

アジのある男 ミスター中央会！

OB交流会釣り大会にて現役会員を優しく包み込むような瞬間を見せた、まさにミスター中央会（木山OB）の1枚です。

今月のハンサムは

- 政治行政・国際交流合同委員会
お隣さんへHere we go！！
- 10月例会報告
- OB交流会
- 県経営研修会
- 全国市民メディア交流大会in米子 など

内容満載！！

今月のワンショット

今でも現役会員のことを忘れずに優しく接してくれる木山OBの写真は、私も将来木山OBのようになりたいと思う気持ちからこの1枚を収めさせていただきました。



委員会活動
レポート

突撃!!隣の委員会 お隣さんへHere we go!

～政治行政・国際交流合同委員会編～



10月6日(水)に行われた、政治行政委員会と国際交流委員会の合同委員会にお邪魔してきました。講師先生は野坂米子市長で、興味を持ちながら参加させて頂きました。

まず、なぜ米子市長を講師先生に選択したのかを北口委員長に聞いたところ、今の米子市政における問題点を直接市長に聞いて、私たちが何をすべきかを模索していきたいとの観点から講師に招いたとのことでした。その中で委員会から出た質問事項を中心に講演していただきました。野坂市長は、「市長になる前から気持ちは今と全く変わっていない、やらなければいけない事は、①合併、②少子高齢化対策、③経済の活性、④市役所改革のこの四項目を実現すべく努力中。」との挨拶のあとに、本題に入りました。

◎20万都市構想について

回答：まず淀江町との合併になっが、今後、境港市、日吉津村など順次合併の方向に進めたい。それから、合併特例債の使い道は、活性化したまちづくりに使っていきたい。

◎米子市の関連施設の運営と今後の展開について

回答：赤字運営の一つに米子ゴルフ場がありますが、出来るだけ民間の方にゆだねたい。

◎米子市における国際交流のあり方

回答：海外研修生の実績が今一步成果を上げていない。何とかしたい。

◎その他、若手経済人に期待できる事

回答：米子を盛り上げて頑張ってもらいたい。

上記の質問事項について回答がありました。



今後、境港市や日吉津村は何年か先には合併せざるを得なくなる可能性があると感じていますし、特例債について具体的にどう使うかは、はっきりと言われませんが、期待したいです。また、米子ゴルフ場は民間で出来るのであれば早急に民間にゆだねる姿勢を示して実行してもらいたいですね。それと、若手経済人についてももっと具体的に回答が欲しかったです。トライアスロンの様なイベントを青経連でやって欲しいなど今後に関わる答えが欲しかったのは私だけではないと思います。

今回の講演で、野坂市長は市民に非常に近い存在に感じました。私にとってそして中央会にとっても身近に感じられる存在というのは、ある意味市長の考えておられる一つの想いのだと深く感動いたしました。

10月例会報告

10月15日(金)、鳥取県立武道館 2F会議室において、国際交流委員会による10月例会が開催された。中本会長の中国語による挨拶のあと、新入会員のバッジ授与が行われた。また報告連絡事項では中部から2名が参加し30周年記念事業の一つである「地産地消を推進する事業」ということで30周年記念ワインのPRが行われた。委員長タイムでは、当委員会の平新委員長が最近「こんなことがありました」「こんなこと感じてます・こんなこと思ってます」という切り口からT関連の情報、中央会活動の歴史を思いも含めた形で後世にきちんと伝えていかなければならないと語られた。最後にPRを兼ね10月30日に米子コンベンションセンターで開催される「全国市民メディア交流大会in米子」に中央会の代表としてメディア・コミュニケーション委員会が参加すると力強く報告された。



今月は講師に、増木 恵子(ますき・けいこ)氏を招き、「文化の違う交流ー物事を多面的に見るー」という演題で講演をしていただいた。講師先生もやや緊張気味のスタートではあったが、中国、台湾、日本の生活習慣や食文化の違いを自身の生い立ちに沿って講演が進んだ。中国では親孝行として親が生前のうちに棺桶を準備するが日本で親孝行として同じことをしたら…?!。など大変興味深い内容で、時には会場から笑いが溢れた。今後、国際交流を深めていく中でのポイントとして、まず相手の心を理解することが必要。そのためにも言葉による壁や生活習慣、食文化を理解し克服しなければ輪の中に入れない。とまとめられた。



OB交流会開催される！

10月17日(日)に、境港の夢みなとタワー附近でOB交流会が開催されました。

今回のOB交流会は、一部が釣り大会、二部が懇親会という構成で行われました。

例年では、OB交流会はゴルフをしたり、懇親会を開いたりしていましたが、今年はいつも出てこれるOB会員だけでなく、それ以外のOB会員についても出席してもらいたいということ、同じ目的を持ちコミュニケーションの中で親睦を深めることを目的として魚釣りを計画しました。

当日は晴れて絶好の釣り日和…かとおもいきや、風が強く肌寒い天候。そのため、会場に足を踏み入れると事前に仕込みを行っていた「かに鍋」に吸い寄せられそうになりました。



一部「魚釣り大会」の開会に先立ち、中本会長、中村OB会長の挨拶の後、各自釣り場へ散っていきます。

なかなか出だしは釣れなかったのですが、小ふぐを皮切りに釣れ始め、1時間ぐらい経過した時から撒き餌が効き始め、そこから爆釣！

小物ばかりでしたが、全体的に投げれば釣れるという状態でした。

そんな中、畑中OBや浜田直前会長は大物狙いで釣るポイントを変えていました。さすが釣り人は違うなあ…と思いました。

最終結果としては、委員会ごとの総量勝負と個人の数量とサイズ勝負でした。

団体優勝は総務委員会、個人優勝は畑中OBでした。

釣りが終わるとみなさん冷えた体を癒しに一目散にかに鍋ゾーンへ！。OB・現役入り混じって舌鼓を打っていました。

今回のOB交流会は二部構成になっており、懇親会は場所を夢みなとタワーのレストランへ移して開催しました。

交流懇親会では、釣りをしないOBにも参加してもらうとともに、順位発表・表彰を織り交ぜながら懇親を深めようというのが狙いです。

そこで表彰式が行われたのですが、団体優勝の総務委員会が辞退されたため優勝はメディア・コミュニケーション委員会へ。マツタケいただきました。この場をお借りしまして、爆釣していただいた小林OBに感謝いたします。個人賞・小林OB、畑中OBへも商品进行授与し、アトラクションや酒を酌み交わしながら親睦を深めていきました。

今回は、一部が家族同伴可となっており、数は少ないですが何名か子ども連れれの会員もおられ、海風で寒いながらもほのぼのとして暖かいOB交流会となりました。



県経営研修会



10月29日(金)、鳥取県立県民文化会館において鳥取県中小企業青年中央会経営研修会が行われた。

平野県会長挨拶後、馬路村農業共同組合専務理事 東谷望史氏より「ごっくん馬路村の村おこし」という演題で講演はスタートした。

内閣官房より「地域産業おこしに燃える人」30人に選ばれた同氏は、現在年商30億となった馬路村の“柚子”を使った数々のヒット商品にまつわるエピソードを語られた。

「売れないから挑戦していった…」過疎化が進む今日、歯

止めをかけると共に商品は全国区のブランドとなったが、同氏は現在も満足していない。観光で訪れる方に満足してもらえる「柚子の森」作りに取り組んでいる。

講演の最後に「風を読む」すなわち時代・タイミングを読み、感を磨き、センスを磨く事が重要であると締め括り、今後私たちの経営に役立ち、参考となる講演は盛況のうちに終了した。



第2回全国市民メディア交流大会 in 米子



平成16年10月30日(土)米子コンベンションセンターにて「全国市民メディア交流大会in米子」が開催された。

今回米子で開催された経緯は、もともとメディアとは市民のものだったのだが、いつのまにか局のものになってしまっていたメディアを、市民の手へ取戻そうという動きを、中海TVは11年前から「パブリックアクセスチャンネル」というチャンネルを始め、続けてきたが、最近になり全国から注目を浴びるようになってきた。第1回目の時に、この鳥取県米子で活動してきたことを、中海TV専務取締役である高橋氏（西部青年中央会OB）が事例発表をし、日本全国CATV

の中で中海TVだけが「パブリックアクセスチャンネル」という市民放送を放送し続けていることに各地のCATV局が「それなら今度は米子で」と言うことになり、第2回目はこの地「米子」で開催のはこびとなった。

事例発表では、何回も打合せ・検討会をした上でこの全国市民メディア交流大会に臨み、今まで西部青年中央会がメディアを活用して行ってきた活動を発表した。

「どうする山陰シンポジウム」「20周年記念事業」までは、製作を依頼して作っていたが、その後の「周年事業」「とびっきり鳥取夢発信！」「志と実学・第26期活動発表会」等、全て会員の手により企画・制作した。

その中でも「とびっきり鳥取夢発信！」では、山陰ビデオシステムさんの協力により「衛星2元生中継」を、我々中央会はたくさんの苦労も重ね地域貢献を目指し自ら情報発信をした。

「第24回全日本トライアスロン皆生大会」では、会員の派遣されたボランティア部が中海TVさんに「今年は高校野球が重なっていて、トライアスロンの生中継は出来ない」と言われながらも、我々の「どうしても生中継したい！」という熱い気持ちにに応じていただき、ボランティアの手による中継を行い、市民がメディアを利用する場を提供した。



最後に、「西部青年中央会を、メディアを通して地域の皆さんに知っていただき、メディアは気軽に利用できるひとつのツールとして考え、地域に対してメディアを利用する場の提供を、私たちの力でも出来るという考え方も念頭に置きながらメディアと関わりを持って活動を続けて行きます。」と述べ、事例発表を終えた。



事例発表終了後、各地から集まった団体と意見交換する場が設けられ、南副会長・平新委員長・畠山会員が対応され改めて思ったが、西部青年中央会は、ケーブルテレビを当たり前のように利用し、当然のように機器を使い、メディアに関わっていたかと思うと、とんでもない事をしていたのかと思わされた。

しかし、それも中海TVさんの協力・理解、そして「メディアは市民のものである」という熱い思いがあったのものではないでしょうか。

10月度委員会報告

総務委員会

平成16年10月4日(月) 於:ホールサムインかいけ 出席者/13名
議題/OB交流会及び忘年例会について

- ・10月のOB交流会について
当日及び当日までの行動の確認
OBの出席が少ないので担当者を決めて再度出欠確認
- ・12月の忘年例会について
担当者からの事業計画案について検討

メディア・コミュニケーション委員会

平成16年10月5日(火) 於:ホールサムインかいけ 出席者/11名
議題/ハンサム・ホームページ・全国メディア大会・忘年例会について

- ・ハンサム制作について
各担当の役割を決定し、紙面構成の確認
- ・ホームページについて
「web版ハンサム」、「委員会、例会出席確認」の検討
- ・全国メディア大会について
事例発表の内容について
- ・忘年例会について
内容検討と役割分担の確認

人づくり委員会

平成16年10月6日(水) 於:大連 出席者/14名
議題/新入会員オリエンテーションについて

- ・年2回開催予定、具体的な内容を検討
- ・役員別研修の件も検討

まちづくり委員会

平成16年10月6日(水) 於:ホールサムインかいけ 出席者/9名
議題/講演 講師 境港市観光協会事務局長 黒田正己氏

- ・境港市の観光、特に水木ロードについて詳しく興味深い講演をされた。

経営委員会

平成16年10月4日(月) 於:インサイト 出席者/11名
議題/11月担当例会の打ち合わせ及び会員企業紹介

- ・11月担当例会について

11月例会での講師の選出及び会場の決定を行った。各担当者については委員長が選出の上、次回決定する事となった。

- ・会員企業紹介について
今回の企業紹介は長田会員(長田製麺)が担当となり会社の現状、今後の展望等について発表があった。

政治行政委員会

平成16年10月6日(水) 於:米子ニューアーバンホテル出席者/14名
議題/講演 講師 米子市長 野坂康夫氏

- ・市政について、いろいろな角度から興味深い講演をされた。
また米子市長への質問も活発に行われた。
(政治行政・国際交流合同委員会)

国際交流委員会

平成16年10月6日(木) 於:米子ニューアーバンホテル出席者/12名
議題/担当例会について、講師 米子市長 野坂康夫氏講演

- ・担当例会について
例会運営表をもとに役割の確認
- ・中国研修生とのディスカッションについての検討
- ・野坂米子市長から市政についていろいろな角度から興味深い講演をされた。
(国際交流、政治行政の合同委員会)

エコチャレンジ2004委員会

平成16年10月6日(水) 於:いりこ家 出席者/10名
議題/E.M菌の使用成果

- ・E.M菌の使用成果でニオイやヌメリがなくなってきたなど情報交換を行った。花木にも散布しているので、今後の報告が期待される
- ・担当例会の準備スケジュール確認。

会員拡大特別委員会

平成16年10月22日(金) 於:ホテルサルート米子 出席者/10名
議題/情報に基づく企業訪問について

- ・各会員より新入会員情報および進捗状況(訪問状況)についての発表があり、委員全員で確認をおこなった。

※役員会報告・連絡事項、会員拡大の件は各委員会とも行われています。

コピーをして名簿にお貼り下さい

(政治行政)

 **山本 博 樹** O型
その建築設計事務所 代表
建築設計
〒683-0852 米子市河崎1746-17
TEL 30-0100 FAX 30-0101

H16.10入会
(推薦者) 平新(武) 桑本(功)
〈自宅〉米子市上後藤2-3-23
〒683-0841 S39.3.12 TEL 35-7970

(コメント)

この度、10月から入会させていただきます山本博樹と申します。私は、今現在40歳でありますから在籍5年もないこととなります。短い期間ではありますが、諸先輩から青年経済人として一人の社会人として色々教えていただき、勉強していきたいと考え入会を希望いたしました。まだまだ若輩者で皆様にはご迷惑をおかけすると思いますが、なにとぞご指導、ご鞭撻いただけるようお願いいたします。

(人づくり)

 **佐々木 雅 彦** O型
大山日/丸証券(株) 米子支店 営業課長
証券業
〒683-0853 米子市西三柳292
TEL 24-1111 FAX 24-1115

H16.10入会
(推薦者) 加藤(典) 山城(克)
〈自宅〉米子市米原1-3-33-902号
〒683-0804 S42.2.3 TEL 22-5039

(コメント)

この度、10月より入会させていただくことになりました大山日/丸証券の佐々木雅彦と申します。米子支店に勤務しまして13年目になります。私自身まだまだ未熟でありますので、中央会の活動の中で、諸先輩のご指導をしっかりと身につけ、ご期待にそえますように日々精進し自己研鑽に努めていきたいと思っております。なにとぞよろしくお願ひ申し上げます。

コピーをして名簿にお貼り下さい

(政治行政)

 **茅野 真 一** A型
(株)井木組 米子営業所 所長代理
総合建設業
〒683-0004 米子市上福原1344-32
TEL 34-3165 FAX 34-3166

H16.10入会
(推薦者) 向井(智) 山本(博)
〈自宅〉米子市立町2-32-1
〒683-0832 S42.10.31 TEL 34-2408

(コメント)

この度、10月より入会させていただくことになりました(株)井木組米子営業所の茅野真一と申します。30年という伝統ある青年中央会に入会でき、大変嬉しく思っております。これを機に、いろいろな業種の方から多くの事を吸収し、自分を高めて行きたいと考えております。また、委員会等にも積極的に参加し、組織に必要とされる人材になれるよう努力して参ります。今後とも諸先輩方のご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。

(政治行政)

 **小幡 武 司** O型
(株)中国銀行 米子支店 支店長代理
金融業
〒683-0802 米子市東福原1-1-1
TEL 35-9511 FAX 35-9521

H16.10入会
(推薦者) 平新(武) 門脇(幸)
〈自宅〉米子市錦海町2-5-1 米子宅301号
〒683-0825 S43.8.16 TEL 31-6155

(コメント)

米子に参りましてまだ1年足らずですが、この度伝統ある鳥取県西部中小企業青年中央会への加入承認頂き、誠にありがとうございました。先輩諸氏の数々の足跡を拝見しますと身の引き締まる思いではありますが、ご助言・ご協力を仰ぎ、責任ある活動実績を積み上げていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

去

10月30日(土)第2回全国市民メディア大会において発表がありました。私たち西部青年中央会のメディア利用に関する変遷は以下の通りです。

シンポジウム「どうする山陰」

地方拠点都市指定に向けたシンポジウムで、このときに始めてメディアを利用しました。

20周年記念式典の記録

記録するという事を意識して映像を制作しました。

とびっきり鳥取 夢発信!

「山陰夢みなと博覧会」において、2時間の生放送にチャレンジしました。西部青年中央会での第二次メディア元年となりました。

25周年記念式典

ドラマを制作し、映像化するなど、自分たちの手で気軽に映像を活用し始めました。

委員会活動の発表

一年a間の委員会活動の成果を発表し、その様子を撮影して中海テレビにて放映しました。

30周年記念式典

本格的な番組制作に取り組みました。

第24回全日本トライアスロン皆生大会

ボランティア部が実施した活動ですが、ボランティアとメディアを連携させて生放送を実施しました。新しい形でのメディアとのかかわりとなりました。

制作されてきた映像を見ると、時代と共に私たちもスキルアップしてきたように思います。しかし、その時々に関する趣みや思いは、ただ映像を見ただけでは解らない部分がそこにはあります。そういう部分も私たちはしっかりと継承していく必要があります。

来

西部青年中央会は30年前に鳥取県西部地区の発展と中小企業の発展を目標に発足しました。30年の歴史とともに現在、OB会員、現役会員の総数は380名を超えるまでに成長しております。

今後の中央会の活動ですが、会員各位の自己研鑽に努めマナーとモラルを身に備えた経営者の育成が第一です。

会員数の拡大と資質の向上も合わせて必要と考えます。

また、鳥取県西部地区の発展のみならず全国また海外に視野を広げて活動し、中央会をPRすることも重要です。そのためにもメディアを今以上に活用していくことも必要です。

今後も地域社会に貢献でき永続できる団体であることを望みます。

現

私が中央会に入会し、あっという間に月日が経ったような気がします。入会当初、あらゆる事に参加し、顔を覚えてもらうことから始めようと目標を掲げました。その目標に沿って行動し、本当に様々な事を経験させて頂くことが出来ました。と同時に、参加しなければ何も無いまま過ごすだけになってしまうことも感じています。

中央会は、新入会員の言葉でもきちんと受け止めてもらえ、どんな事にも答えてもらえるということも分かりました。また卒会されたOB会員の方々を本当に大切に、一緒に行動することなどは素晴らしいことだと思います。

毎月の委員会、例会で綱領唱和を行います。そのことに対して疑問に思うことがあります。本当の意味で会員が自己の研鑽に努め、英知を養っているのか、本当の部分で社会に奉仕し、お互いの友愛を深め合っているのか、全ての会員が団結して中小企業の発展をはかっているのか。出席率が低く、例会に魅力を感じていない会員が多数いる中で、会の中のどの部分で英知を養っているのだろうか。社会に奉仕することはあっても、一部の決まった会員のみ友愛を深め合っているのではないのか。本当の意味で自信を持って中央会の会員は一つと言えるのか。

中央会の原点が綱領の中に納められているのなら、外に目を向けることも大切だと思いますが、再度原点に戻り、自らの会のあり方を見つめなおしても良い気がします。

11月役員会報告

11月定例役員会が平成16年11月1日(月)、米子食品会館において開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。

- ・11月例会について
- ・12月忘年例会について
- ・新入会員オリエンテーションについて
- ・その他

※なお、詳細については委員長までご参照ください。

11月例会案内(セミオープン例会)

と き：平成16年11月15日(月) 18時30分～

と ころ：ホテルサンルート米子

講 師：大山ハム株式会社 代表取締役社長 竹葉 洋氏

演 題：「チャンス・チャレンジ・チェンジ」

担 当：経営委員会

おめでとうございます

事務所移転

山本 徹会員

社会保険労務士

山本労務管理事務所

米子市西町117-6 2F TEL (0859) 37-5200

労働保険事務組合 山本労務管理センター

境港市外江町2979 TEL (0859) 47-0777

11月3日 お店オープン

宇野昌伸会員

手打ちそば 昌庵

米子市彦名町4123-3 TEL (0859) 24-0043